



# Compita Japan トレーニングニュース 2004.08

## 皆様からお寄せいただいたご質問にお答えします

**Q: 顧客からアセスメントされる立場にある供給者が、なぜ自己アセスメントに関心をもつべきなのですか？**

(ブリティッシュ・テレコム社 ソフトウェア供給者アセスメントチーム  
Chris Amos 様)

**A:** 供給者側は自己アセスメントと改善を行うことにより、主に2つのメリットが得られます。

1) 改善したい、顧客を支援したい、という熱意が自己アセスメントという形で示され、顧客のアセスメントチームに前向きな印象を与えます。

2) 顧客に自己アセスメントの結果を利用してもらうことにより、アセスメントの規模を縮小させることができます。自己アセスメントの結果を再利用することで、特に関心の強い分野や自己アセスメントで扱わなかった範囲に焦点を絞ることができます。

利点2)を最大限に得るためには、ISO15504 や CMM<sup>®</sup>、CMMI<sup>®</sup>などの国際規格に則った手法やモデルを用いて自己アセスメントを行うことが重要です。

**Q: どうやってプロセス改善を実現させるのですか？**

(パークレー銀行 Roy Knowles 様)

**A:** 改善プログラムを開始する前に、行わなければならないことがあります。それは、改善プログラムの実施に対する管理者層のコミットメントを得ることです。アセスメントでは、意見を積極的に受け入れる姿勢と率直さが特に大切です。改善を有意義なものにし効果を生み出すためには、ビジネスドライバに合わせた改善を行わなければならないため、改善策を進めていく上で管理者層の長期的なコミットメントが欠かせません。

この共通のテーマにもうお気づきでしょう。何事においても管理者層のコミットメントが重要なのです！

## CMMI<sup>®</sup>のメリット

組織は時に困難な状況に直面します。貴社では数多くのプロジェクトを引き受け過ぎてしまい目が回る忙しさではありませんか？責任の押し付け合いや、品質を保証できずに苦労していませんか？もしそうだとしたら、CMMI<sup>®</sup>など実績ある業界標準に従うことで、組織のソフトウェア開発に関してベストプラクティスを確立することができるでしょう。

CMMI<sup>®</sup>モデルは、SW-CMM<sup>®</sup>とISO15504<sup>®</sup>双方の強みを活かして、より柔軟で強力なプロセス改善アプローチを提供します。CMMI<sup>®</sup>では、貴社のニーズに合わせて段階表現か連続表現どちらかの改善モデルを選択することができます。

CMMI<sup>®</sup>を実行すると次のようなメリットがあります。

- 生産性の向上
- テスト前により多くの問題点を検知可能
- 市場投入までの期間短縮
- 顧客先での不具合の減少
- 顧客満足度の向上
- ビジネス再契約の増加

貴社にとってCMMI<sup>®</sup>はどんなメリットをもたらすのか、詳しい情報については是非コンピュータジャパンにお問い合わせ下さい。

\*能力成熟度モデル CMM、CMMI は、カーネギーメロン大学によって、米国特許商標に登録されています

## トレーニング日程

**CMMI<sup>®</sup> 入門コース**

2004年9月28日-10月1日

**CMMI<sup>®</sup> アセッサコース**

2004年10月12日-15日

**CMM<sup>®</sup> 入門コース**

2004年10月6日-8日

**CMM<sup>®</sup> アセッサコース**

2004年11月9日-12日

**CMM<sup>®</sup>/CMMI<sup>®</sup> リードアセッサコース**

2004年12月6日-8日

お問い合わせ、お申し込みは、

電話 03-5649-2003、email [welcome@compita-japan.com](mailto:welcome@compita-japan.com) まで。詳しい内容はホームページ <http://www.compita-japan.com/> をご覧下さい。

## CMMI<sup>®</sup>を「どのように」実践するか？

CMMI<sup>®</sup>コースでは、ビジネスを正しい軌道に乗せるために「何をすべきか」について、業界のベストプラクティスを学習しますが、一方で「どのように行うのか」が分からないとお感じかもしれません。心配はご無用です。その点についても、コンピュータジャパンがお手伝いいたします。CMMI<sup>®</sup>コースに加え、どのように業界のベストプラクティスを適切に実践していくかについてもコースを提供しており、貴重なお時間とトレーニングコストを最大限に活用していただけることと思います。

コンピュータのプロセスプロフェッショナル改善マネジメント (PPIM) 手法は、プロセス改善プログラムの実施に携わる皆様の「どうやって？」という疑問に十分にお答えいたします。

PPIM コースを受講していただくことで、PPIM 手法の概要を理解し、プロセス改善について開始からプロセス定義、展開、導入、進捗の測定に至るまで全般的な知識をつけることができます。PPIM コースは、ソフトウェアプロセス改善 (SPI) を成功に導くための直ぐに使えるツール一式を提供します。

コースの詳細やCMMI<sup>®</sup>の知識をどうやって実行に移したらよいかなどについてご質問があれば、是非コンピュータジャパンにご相談下さい。

## お問い合わせ

株式会社 コンピュータジャパン

〒103-0016

東京都中央区日本橋小網町 19-7

電話 03-5649-2003

FAX 03-5649-2637

E-mail [welcome@compita-japan.com](mailto:welcome@compita-japan.com)  
<http://www.compita-japan.com/>